

国際ロータリー第2530地区東北第一分區



福島南ロータリークラブ

〒960-8151 福島市太平寺通65-2 ギャロリアビル1F20号
tel:024-548-3793 fax:024-548-7878
所在地/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上田4-30
tel:024-629-3811(F) fax:024-629-0375
HPアドレス http://www.inkan.jp/f-southrotary/index.html

会長 黒羽好夫 副会長 齋藤美穂
 会務部長 金子 敏明 総務部長 鈴木 光一 広報部長 長尾 勇一 丹治 智幸 丹治 洋子 岡田 晴夫



2010年-2011年RITテーマ

第19回例会 平成22年11月24日(水) サンパレス福島
 ■メークアップ/32名 ■修正/67名 ■修正率/100% ■会員/67名 ■出席/35名 ■出席率/52.24%

本日のプログラム	
1 開会点鐘	7 ポールハリスフェローピン
2 ロータリーソング 奉仕の理想	8 バッジ授与
3 四つのテスト	9 ゲストスピーチ
4 来訪者紹介と会長あいさつ	10 各委員会報告
5 創立40周年実行委員会立上げ	10 閉会点鐘
6 地区大会表彰の授与	

今月・来月のプログラム	
12月1日(水) ガバナー補佐クラブ訪問・誕生祝い ロータリーの友読みどころ	12月8日(水) クラブ年次総会
	12月15日(水) 会員スピーチ IAC例会日
	12月22日(水) 家族クリスマス忘年会(夜間)
	12月29日(水) 法定休日

◆会長挨拶◆

黒羽 好夫 会長
 「ロータリーの原点に帰ろう！」



今月は、ロータリー財団月間になっています。ロータリー財団は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善・平和を達成することです。財団への支持を通じて、ロータリアンは、人々の生活向上に貢献する力を得ることができるのです。今年度の当クラブの財団への基金は先週までで、363,000円になっております。会員の皆様のご協力に感謝致します。なお、例年より、若干、ペースが落ちておりますので、より一層のご協力をお願い致します。

本日は、補助金委員会委員長小針藤助様にゲストスピーチをお願いしております。ロータリー財団が何に使われているか、どんなものが補助金対象になるか、その他、ロータリー財団の詳しい情報が、お話し頂けることと思います。後ほどのスピーチをお楽しみにして下さい。

地区大会も終了、先週は、ガバナー慰労会も華やかに開催されました。いよいよ、創立40周年記念式典の準備を始める時期になりました。先般、理事会

で、理事の皆様には大枠の概要をご説明し、ご承認を頂きました。さらに、第1回の準備会議を行いました。実行委員会の概要と組織も決まりましたので、本日は、富田実行委員長から 実行委員会の組織を発表頂くことになっております。今後のご協力をよろしくお願い致します。

◆創立40周年実行委員会立上げ◆

富田 健三郎 実行委員長



富田健三郎実行委員長より、創立40周年記念実行委員会の組織についての発表がなされました。

- ◎実行委員長：富田健三郎 会員
- ◎実行副委員長：野地利雄 会員・林克重 会員
- ◎総務登録委員長：大野順道 会員
- ◎記念事業委員長：鈴木恒昭 会員
- ◎会場・式典委員長：廣澤俊樹 会員
- ◎祝賀運営委員長：伊藤弘子 会員
- ◎案内・接待委員長：林克重 会員
- ◎記録・広報委員長：松崎弘昭 会員
- ◎会計：佐藤勝宣 会員
- ◎救護委員会：植木洋司 会員
- ◎スマイリングBOX：三浦善治 会員

別紙により、副委員長以下の紹介がありました。富田実行委員長は、素晴らしいスタッフに恵まれ、成功裏に終わると想っており、全員野球で取り組んでいきたいとの意気込みを披露されました。

◆地区大会表彰の授与◆



皆出席 30年表彰 齋藤浩 会員

◆ポールハリスフェローピンバッジ授与◆



該当者は、黒羽好夫会員(6回)、渡辺勇会員(3回)、鈴木定男会員(2回)、国井元会員(1回)でした。

◆ゲストスピーチ◆

ロータリー財団委員会 補助金委員会 小針藤助委員長(白川RC)



(1) 補助金委員会と新地区補助金
 地区補助金制度が、様変わりする時期です。そして、地区にとって、活用出来る制度の改正となり、我々にとっては権利であり、活用を適切に行う義務でもあると感じています。その意味では、財団委員会の役割が重要となると考えています。そうしますと、現在の在り方が適切なのかどうかについて、組織そのものを見直さなければならないと考えています。

(2) シェアシステム
 シェアシステムとして方向性で進めています。地区財団活動資金(以降、DDF)、国際財団活動資金(以降、WF)として、様々なロータリープログラムの中で、活動資金の助成・補助金として使われています。特に、会員にとって活用して行って頂きたいのが地区補助金です。この地区補助金は、DDFから拠出され、財団の使命としての有効に活かして、人道的プログラムに適用されると考えています。

(3) 地区補助金の有効活用
 文化的な活動や、周年事業などには、基本的には活用することはできません。ただし、障害者向けの支援事業などを実施する等、プログラムによっては、適用される可能性があると思います。これららの活用について、「人道的プロジェクトの視点」「地区補助金の適格性」「利用上の注意点」「解説の中で可とされる対象プロジェクトの例」として、今例会の配布資料にまとめました。

①人道的プロジェクトの視点
 1) 奉仕活動や寄贈品は、地域で叶えられていないニーズを満たすものか、どうか。
 2) プロジェクトは、恵まれない人々の役に立つものか、どうか。
 3) 地区補助金がなければ、そのニーズを満たすことができないのか、どうか。
 4) 地域のニーズは、今、行うことに意義があるか、どうか。(2、3年後ではない今、行うべきことか、どうかということ)

- ②地区補助金の適格性
- 1) 地区補助金は、環境保全プロジェクトにも認められる。
 - 2) プロジェクトだけでなく補助金を何に使ったかということも判断の対象
 - 3) 国内または地区内の社会奉仕プロジェクトであること
 - 4) マスコミ等を使った広報活動がなされている事

- ③利用上の注意点
- 1) 計画は資金計画も含め出来るだけ綿密に。
 - 2) 資金管理は適切に、領収書はすべて保存。
 - 3) 決算書を作成する。
 - 4) 報告書の提出は速やかに行う。次年度や他のクラブに迷惑がかかる。

- ④解説の中で可とされる対象プロジェクトの例
- 1) パラリンピック(対象が障害者)のようなスポーツ大会の開催
 - 2) 入場料を取らないポスビスなどでのコンサート
 - 3) 被災地への救援物資の寄贈
 - 4) 危険な道路などへの交通標識の設置
 - 5) 献血キャンペーンやAEDの寄贈

◆新ガバナー事務局職員の挨拶◆

安戸 清和 地区幹事



今後の委員会総会などが主な事業となります。これから、様々な面の整理が必要となります。新しいスタッフとして、齋藤美香に加わって頂きました。「一生懸命努めさせて頂きすので、よろしくお願致します」と、齋藤美香さんより、ご挨拶がありました。

◆スマイリングボックス◆

- 初めてのメークアップです。小針 藤助(補助委員会委員長)
- 小針委員長のスピーチに感謝 黒羽 好夫 会長
- 小針さんのご来訪を記念して！昨年度大変お世話になりました。 齋藤 浩 会員
- 今年度、初めてのメークアップになります。 佐々木 廣充(福島21RC)

スマイル 32,000円 累計 702,701円
 財団・米山 49,000円 累計 736,000円

～私の職業の目的～ 丹治 智幸 会員

社会の矛盾を政治の力で解決し、確かな未来を目指した枠組み構築。

一編集後記一

地区補助金の話伺い、ロータリーの理念と実践の仕組みについて、学びとなりました。(丹治ト)